

主題：静岡の人々の前世紀における豊かな社会や文化史：革命的な変化/受け継がれる伝統/不朽の側面

目的：次世代が快適で平和に暮らすことができるよう、私たちの現代社会の基盤を築くために命を捧げた高齢者の方々へのトリビュート(賛辞)。彼らの苦難と犠牲を忘れてはいけません。私たちは彼らの財産である知恵と人生経験を尊重していくべきです。

この個展は1900年代初頭から現在までの静岡県住民の成長(有形・無形)について取り上げています。生き方は年月を通してどのように変化したかに着目しています。私たちは自動化、工業化、都市化、資本主義と情報化などの革新的な発展を目の当たりにしました。並んで重要な出来事は、人々の生き方を変える社会分野での大きな変化(例えば、女性の解放、男性のアイデンティティの変換、父方と母方の役割の変化、男女平等など)です。しかし、これらの大きな原動力があったにもかかわらず、人々の基本的なニーズにあまり変化は見られません。私たちは今でも水、食糧、住居、安全、愛、希望、導き、生きる目的、そしてそれらを分かち合う人々を必要としています。多くの文化遺産の要素が、未だに21世紀に根付いているのは驚くべきことです。それが、時代を経ても変わらないという事なのです。科学者たちは私たちの時間の認識は相対的であることを指摘しています。私たちの時間の価値観は相対的だけでなく、人間のライフサイクルの中で変化していきます。にもかかわらず、一つの安定した要因があります。私たちが生きている時代にかかわらず、そこには常に私たちが懐かしく思う物事が存在します。作品は伝統と現代的な媒体や技術を組み合わせることにより、過去・現在・未来の融合の視覚化を意図しています。



#### Past by Present 現在による過去

これらの作品は、現代的なミクストメディア(媒体の合成)や技術(例えば、アクリル絵の具、木材上のパズルピース、カラーマーカー、デジタル画)を使用し、昔の静岡の前近代的な生活と、農業のライフスタイルと人々の生活環境を必然的に変化させた革新的な進歩を描いています。



#### Nostalgia: Voices from the Past

ノスタルジア(郷愁)：過去からの声

人はそれぞれ、過去・現在・そして未来に対し、独自の解釈-感傷的な気持ち-を持っています。また、私たちの時間の価値観は、私たちが成長するにつれて変化する傾向があります。この芸術映画は、時間との奇妙な関係を視覚化することにより、その瞬間を生きることの重要性を強調しています。1900年代から現在に至るまでの多くの生活の変化を表現し、過去と現在の生活に関連する視覚と聴覚の効果を用いています。

作者は (a) 注目すべき社会的、技術的、経済的な進歩 (b) 懐かしい思い出へと変わる、色褪せた伝統的な特徴 (c) 不朽の文化の側面、を表現することにより、瞬間を生きることの重要性を伝えようと試みています。題材のテーマは、家族の構造とその動力、女性の解放、家事や育児、ジェンダーの平等、配偶者との関係における男性の役割など、社会的な分野の変化です。私たちの生活に影響をもたらす社会変化に拍車をかけた著しい発展は、資本主義、消費主義、快楽主義、利便性の文化、福祉などです。映像は、1953年にシャープが日本で初めて製造した市販テレビTV3-14Tを参考にして作られた装置の中に表示されます。

#### Yorum Ghotbi

Yorumは、今年2011年の一月から静岡に在住する国際的アーティストです。韓国生まれオランダで育った彼女は、芸術的な両親によって育てられたことから、美術への強い情熱を持つようになり、幼いころから絵を描き始めました。彼女は、異文化間における経営学と韓国学の修士号を、オランダ国内で最も歴史ある「ライデン大学」で修得しました。以後彼女は、世界各地、5カ国で暮らし働くこととなります。彼女が著した、北朝鮮についての書籍はオランダで出版され、ドキュメンタリー作品の監督経験もあります。彼女の初めての個展(油絵作品)は、イランで開催されました。Yorumは、あらゆる人々の想像力に語りかけるような作品を作りたいという熱意を持っています。



#### Present by Past 過去による現在

このカテゴリの作品は、過剰な消費、豊かさや利便性の文化、技術(モバイル)への依存、商業娯楽など、静岡の近代的な日常生活の特徴的な面を表しています。今日、人々は即座にニーズを満たすことが当たり前になっていますが、それは、忍耐と自制が必要とされた過去の農業を営む暮らしとは、明確な対比を示します。これらを強調するために、作者は、伝統的な媒体や技術(例えば、油性塗料、黒インク、水彩)を使用しました。



#### Timeless Natural Beauty 時代を超越した自然の美しさ

日本の文化において様々な植物が見られる中で、昔から賛美されているものは、おそらく竹と桜の木の二つでしょう。昔から芸術家や職人は、深い象徴的意味と明確なメッセージ性を表すために、竹と桜を作品に多く使用しています。その趣向は今日の現代社会でも色褪せていません。竹と桜の美的および象徴的な価値は、不朽です。これらの作品は、竹や桜の花の雄大な美しさを現代的な演出で表現しています。

「人生は、後ろ向きにしか理解できないが、前を向いてしか生きられない。」  
セーレン・キルケゴール(デンマークの哲学者 1813-1855)

## POP UP studio

毎月10日-20日

JR静岡駅から南へ徒歩10分

〒422-8075  
静岡市駿河区大坪町1-28 054-374-0706  
<http://popupakiko.jp>



社会貢献：収益の一部は、高齢者の方々に感謝の意を込めて、老人ホームに寄付されます。